

令和6年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

北海道

行 事 名 称	旧笹浪家住宅文化財防災訓練
実施期間・日時	令和7年度1月27日 9:30~10:00
実 施 場 所	重要文化財 旧笹浪家住宅 (檜山郡上ノ国町字上ノ国246)
主 催 者	上ノ国町教育委員会

■実施内容

訓練の想定

旧笹浪家住宅において、冬期休館中にブレーカーを入れたところ、通電されたことにより、コンセントから出火。しかし、出火したことに気づかず煙が充満してきたことで火災に気づき、初期消火に当たるが、失敗したことを想定した。

訓練の内容

旧笹浪家住宅のザンキに参加者を集め、別室でスモークマシンを用いて煙を発生させて、煙感知器の作動と共に避難を開始。避難後は、消防職員より講評や火災についての講話を行った。

参加者及び役割分担

上ノ国八幡宮職員 1名：受講
 上ノ国地区住民 12名：受講
 上ノ国消防署 2名：防災講話
 上ノ国町教育委員会 3名：全体統括、避難誘導、現場立会

特に工夫した点

参加者の集まる部屋に煙が入らないようにし、煙感知器の作動で訓練を開始するようにして、実際の火災発生時を演出した点。

脱いだ靴の配置を変えて、非常事態を作って避難時のパニック状態を演出した点。

問題点・課題

火災発生時に、煙が充満すると周りが見えなくなることから、室内を熟知している人でも段差等に躓く恐れが高まることから、適切な避難誘導ができるように日頃より避難経路の確認を行う必要性を感じた。

その他

文化財防火デーに合わせて、訓練を実施することで防災の必要性について理解することができ、日頃の備えの確認ができることから、今後も継続して実施する必要がある。

訓練風景



スモークを焚いている様子



避難している様子